



# 山腹用水路と棚田を災害から守る取組

山間農業地域

参考資料4



キーワード

・自然災害の防災  
・減災・復旧

みどり たかちほごうこういききょうてい たかちほちよう

## 水土里ネット高千穂郷広域協定（宮崎県高千穂町）

- 単独で活動していた3地区5組織が広域協定の参加に同意し、平成29年度より広域協定組織として取組を実施。
- 本地域には、世界農業遺産でその価値を認められた総延長80kmに及ぶ山腹用水路やつなぐ棚田遺産に認定された「川登棚田群」を含む170haを超える水田があり、泥上げ作業や国県事業に該当しない小規模な用水路の補修・更新、異常気象時の点検・応急措置等により、防災・減災・復旧に取り組んでいる。
- この活動により、劣化・破損箇所への補修・更新が図られるとともに、台風や豪雨等による災害発生時にも迅速な対応が可能となった。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積173ha  
(田171ha、畑2ha)
- ・資源量 水路80km
- ・主な構成員 農業者、自治会、土地改良区等
- ・交付金 約8百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、兼業農家が多く、高齢化も進んでおり、土地改良区の役員等に作業等の負担がかかっていた。
- また、費用面においても、土地改良区の予算だけでは十分な補修・更新等が実施できなかった。
- 以上のような状況から、近年、強化・巨大化する台風や集中豪雨等により被災した用水路・農地の応急措置や復旧にも、時間を要することが多かった。



異常気象後の  
応急処置  
(R4 台風14号)

### 取組内容



- 年間を通して、状況に応じた泥上げ作業の実施。



- 機能診断により劣化状況等を確認し、予防保全活動や補修・更新を実施。



- 異常気象後の見回りや応急措置の迅速な実施。



- 広域化し、少人数では手が回らなかった施設の見回りや復旧作業の実施。予算の流用による維持管理。



異常気象後の 応急措置(R4 台風14号)

### 取組の効果と今後の活動

- これまで実施できなかった用水路の補修や更新を効果的に行うことができ、防災・減災力の向上が図られた。
- 豪雨や台風通過後の見回りを構成員でこまめに行うことにより、災害発生箇所を早期に見出し、迅速な応急措置や復旧に繋げることができた。
- 最近では、線状降水帯の発生などにより、予報を大幅に超える雨量を観測することが増えており、より防災・減災力を高めるため事前の流量調整をどのように行うか協議する機運が高まっている。



たのうえかんきょほぜんかい みやざきし  
田ノ上環境保全会（宮崎県宮崎市）

- 本地域は、宮崎市佐土原町北部に位置し、二級河川一ツ瀬川の支流である天神川を水系とする水田及び畑地帯である。
- 子供達や親の世代が、地域の自然とふれあい、学べる機会をつくることで、地域と協力した農村環境保全活動を行っている。
- 多面的機能支払制度への取組による構成員と地域住民のつながりにより、一体感を持って農地の維持管理を行っている。また、交付金を活用して水路補修等を実施し、施設の長寿命化を図っている。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積34ha  
（田25ha、畑9ha）
- ・資源量 水路8.3km  
農道4.5km
- ・主な構成員 自治会、水利組合、農業実行組合、老人会、子供会
- ・交付金 約150千円（R4）

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

### 活動開始前の状況や課題

- 子供達がフィールドワークを通して、地域の自然環境を学ぶ機会が少なくなっていた。
- クサガメなど外来種の増加等の問題が生じているが、環境保全活動が行われていなかった。
- 過去に確認されていたキジやウズラなどの野鳥が、近年確認されなくなった。
- 農家の高齢化に伴い、耕作放棄地や休耕地が増加する中で、組織の構成員だけでは維持管理が難しくなっていた。

### 取組内容



- 宮崎県環境保全アドバイザーの講師のもと野鳥、田んぼ周辺の生き物等（水性生物、昆虫、植物）の観察を行っている。（子供会）



- 耕作放棄地や休耕地にコスモスの播種を行い景観形成に努めている。（老人会・子供会）



水性生物の観察



### 取組の効果

- 子供達が自然とふれあい、学べる場として継続的に活動し、生き物等の生息分布を調べることで、地域の自然や生態系への理解を深めることが出来ている。
- こども会や老人会も取組に参加し、非農家からも農業・農村がもつ多面的機能について理解・協力が得られている。



野鳥についての学習



野鳥の観察



昆虫採取、観察